

磐梯山

概況

火山活動に変化はなく静穏に経過しました。

・噴煙活動（図2）

遠望観測（監視カメラ:山頂から北へ約7km）では、山体北側火口壁の噴気の高さは最大でも100m以下で低調な状態が続いています。

・地震活動（図3～6）

火山性地震は少ない状態が続いています。
火山性微動は観測されませんでした。

・地殻変動（図7～8）

GPS 連続観測では、火山活動によると考えられる変化は観測されませんでした。

・熱活動（図9～10）

5月31日～6月1日と10月6日に、現地観測を実施しました。噴気、地熱の状況に異常はみられませんでした。

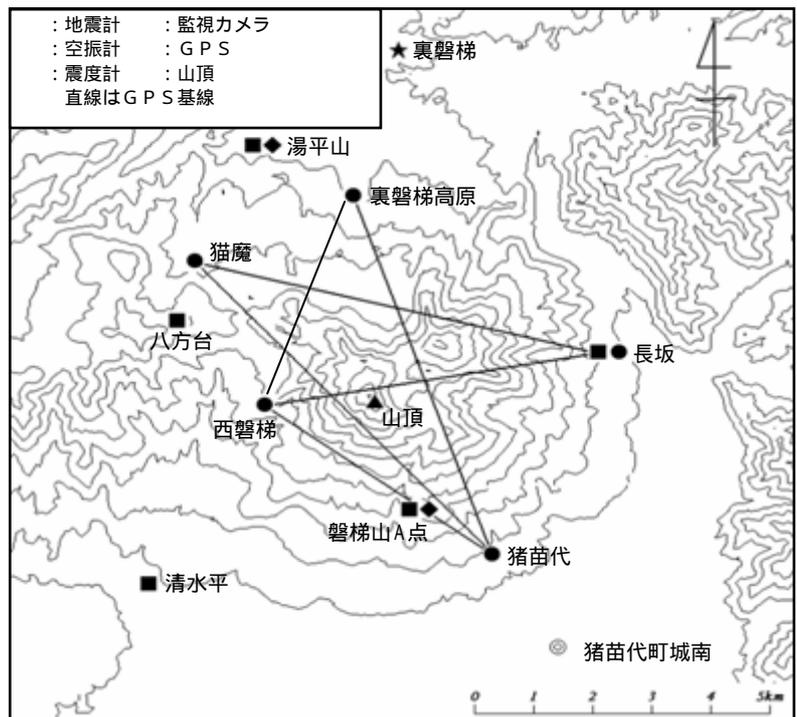


図1 磐梯山火山観測点配置図



図2 磐梯山月最大噴気高（1996年4月～2005年12月）

2002年2月以前は定時(09時,15時)及び随時観測による高さ。
2002年2月以後は全ての時間を収録データから観測した高さ。

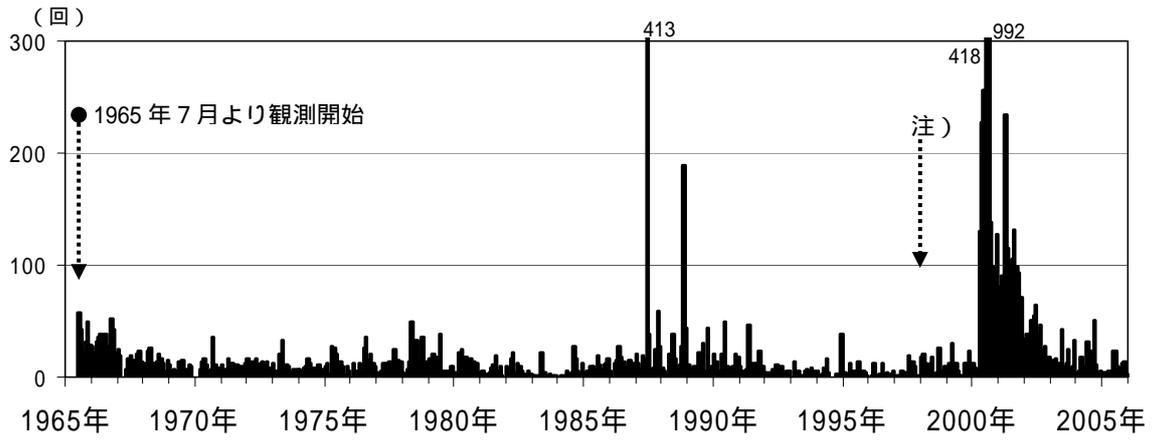


図3 磐梯山月別地震回数(1965年7月～2005年12月)

注) 1998年より検測基準変更(S-P5秒以下からS-P2秒以下に変更)
2000年10月に観測点を移設(東へ約100m移設(山頂からの距離はほぼ同じ))

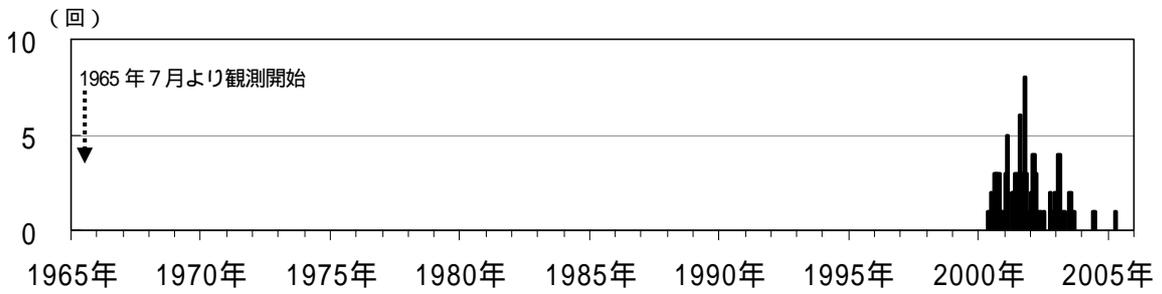


図4 磐梯山月別微動回数(1965年7月～2005年12月)

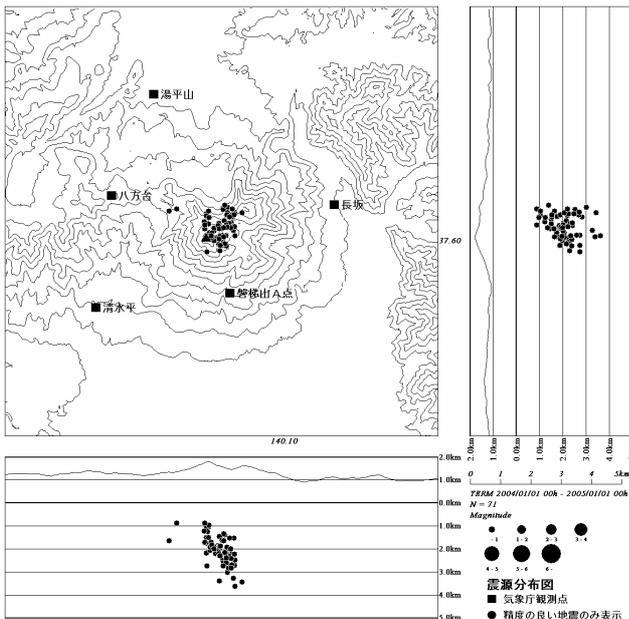


図5 磐梯山の震源分布(2004年)

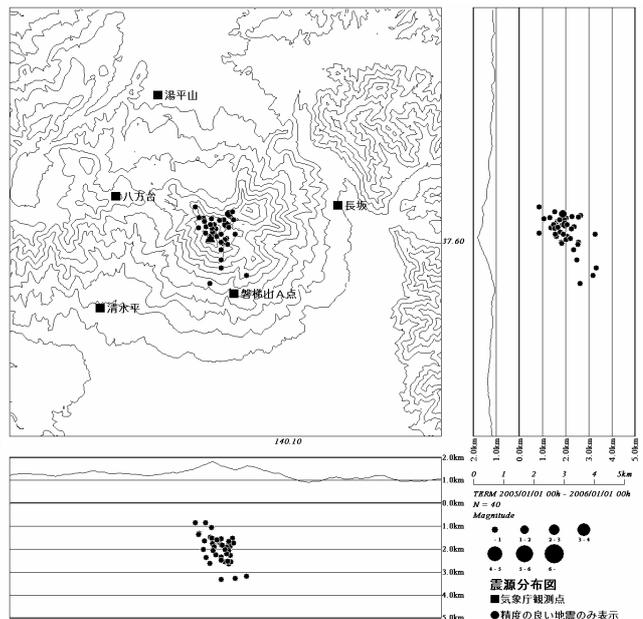


図6 磐梯山の震源分布図(2005年)

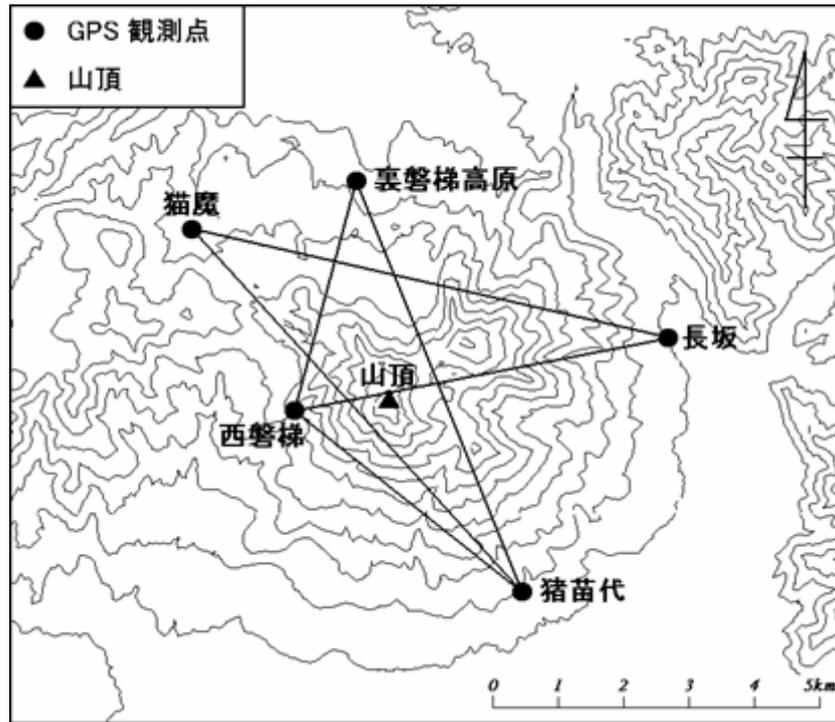


図7 GPS 基線

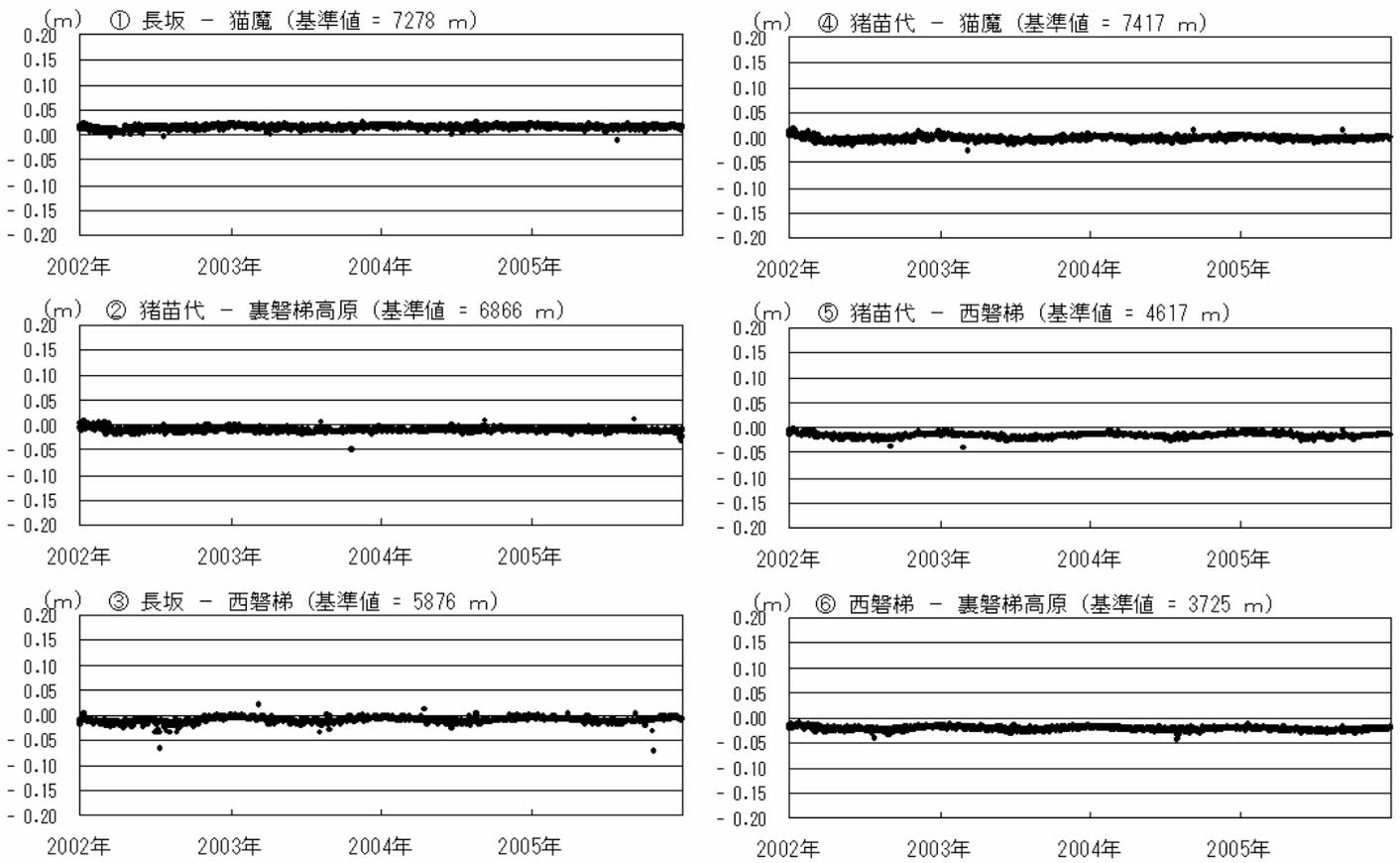


図8 GPS 基線長変化図 (2002年1月~2005年12月)

現地観測の結果

5月31日～6月1日、10月6日に現地観測を実施しました。その結果、噴気・地熱地帯の状況に大きな変化はなく、静穏な状態が続いていることを確認しました。

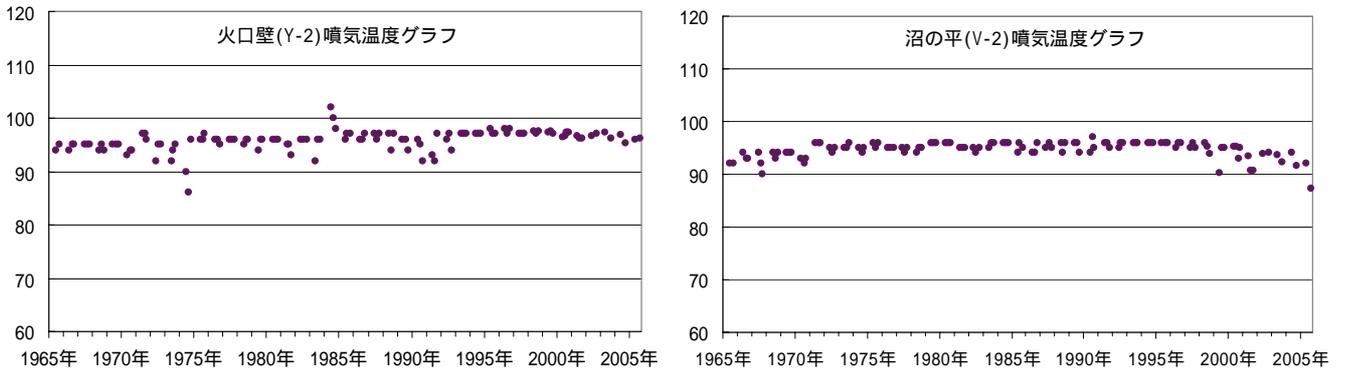


図9 火口壁(左:Y-2)と沼の平(右:V-2)の噴気温度²⁾変化
(データ期間:1965年7月～2005年10月)

沼の平(V-2)及び火口壁(Y-2)の噴気温度²⁾は、1965年7月の観測開始以降、ほぼ一定しています。

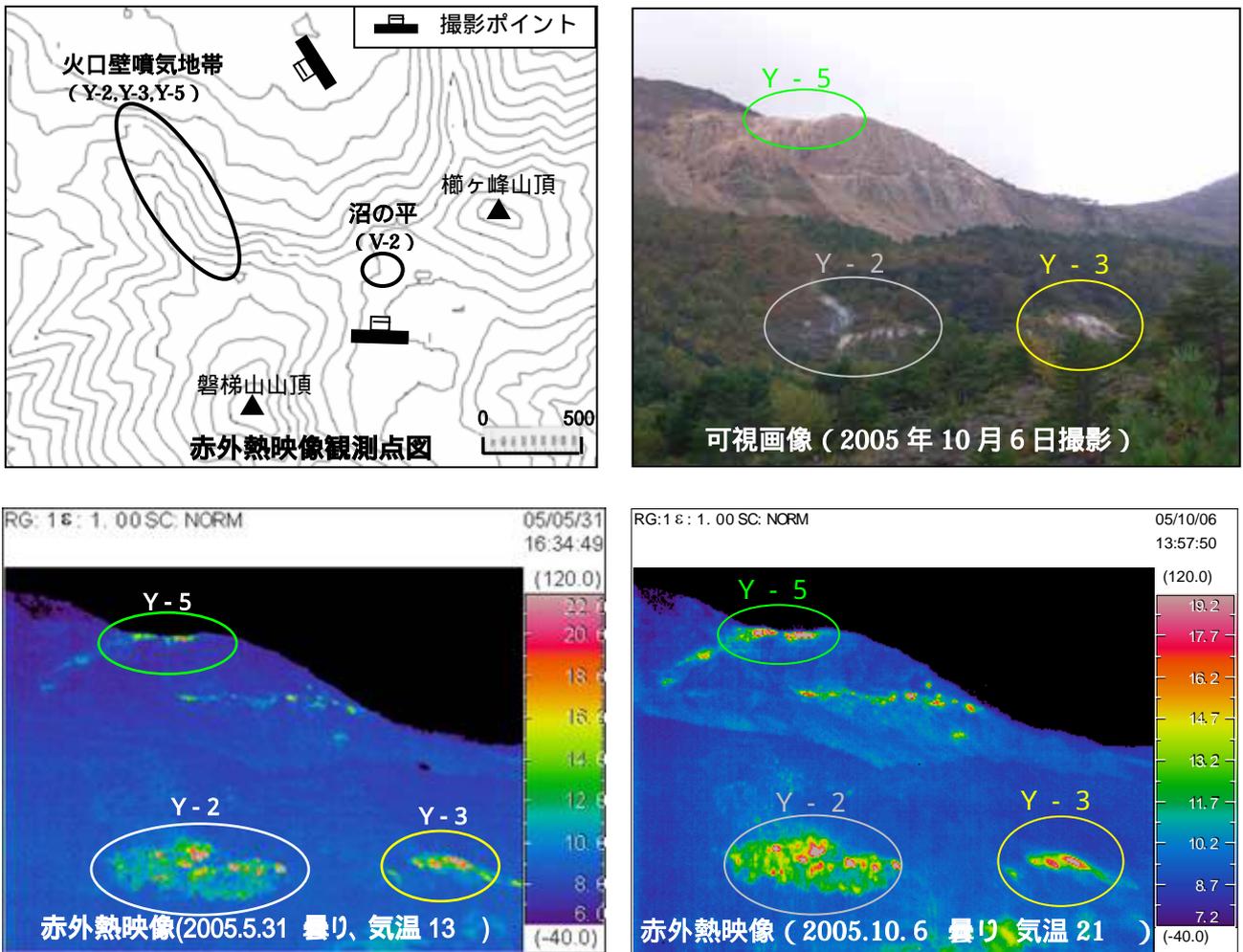


図10 火口壁噴気地帯(Y-2,3,5)の可視画像と赤外熱映像解析図¹⁾
(左下:2005年5月31日、右下:2005年10月6日)

- 1) 赤外熱映像装置は、物体が放射する赤外線を感じて温度分布を測定する機器であり、熱源から離れた場所から測定することができる利点があるが、測定距離や大気等の影響で実際の熱源の温度よりも低く測定される場合がある。
- 2) サーミスタ温度計で測定。サーミスタ温度計は、センサーを直接熱源に当てて温度を測定する機器である。